

宗教学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
宗教人類学特論	聖俗・性食論	2	山田 仁史	2学期	火	1	1
宗教学特論Ⅰ	宗教と心理	2	高橋 原	1学期	水	3	2
宗教学特論Ⅱ	自然災害と宗教	2	木村 敏明	1学期	金	2	3
宗教学特論Ⅲ	宗教社会学概論	2	三木 英	集中(1学期)			4
宗教学研究演習Ⅰ	宗教学の理論	2	木村 敏明	1学期	金	3	5
宗教学研究演習Ⅱ	ウェスターマルク再読	2	山田 仁史	2学期	金	3	6
宗教学研究演習Ⅲ	A Study of Medical Folklore	2	アンドリュース デール	1学期	火	4	7
宗教学研究演習Ⅳ	A Study of Medical Folklore	2	アンドリュース デール	2学期	火	4	8
宗教学実習Ⅰ	宗教学調査法	2	木村 敏明. 谷山 洋三. 山田 仁史. 高倉 浩樹	1学期	月	4、5	9
宗教学実習Ⅱ	宗教学調査法	2	木村 敏明. 谷山 洋三. 山田 仁史. 高倉 浩樹	2学期	月	4、5	10
課題研究 (宗教学)		4	木村 敏明. 谷山 洋三. 山田 仁史.	通年	火	5	

科目名：宗教人類学特論／ Religious Anthropology (Advanced Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

学期：2 学期, **単位数：**2

担当教員：山田 仁史 (准教授)

講義コード：LM23103, **科目ナンバリング：**LHU-RES601J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

聖俗・性食論

2. Course Title (授業題目)：

Sacred and profane, sexuality and food

3. 授業の目的と概要：

宗教においてはしばしば、食と性にかんするタブーが課される。肉食妻帯を禁じた日本仏教はその一例である。性と食はなぜ (どこまで) パラレルなのか。この問題に取り組むため、本講義では主として性にかかわる習俗をとりあげ、語ってゆく。

4. 学習の到達目標：

自らと馴染みのない習俗を知り、それらを拒絶することなく、意義について客観的に考える態度を養う。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 はじめに：聖と俗、性と食
- 2 性交と死の起源神話
- 3 巨根の〈動物の主〉
- 4 ヴァギナ・デントータの物語
- 5 掠奪婚の過去と現在
- 6 初夜権 (jus primae noctis)
- 7 いわゆる〈妻貸し〉をめぐる
- 8 一妻多夫婚の諸相
- 9 冥婚：死者の花嫁
- 10 聖娼：聖と性が会おうところ
- 11 聖婚 (hieros gamos)
- 12 インセスト・タブーは普遍的か
- 13 割礼と身体変工
- 14 拒食と禁欲
- 15 おわりに：食と性とはパラレルか

6. 成績評価方法：

学期末レポート (講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%) および毎回のフィードバック (出欠確認を兼ねる。20%) により評価します。

7. 教科書および参考書：

Westermarck, Edward, The History of Human Marriage, 5th ed., 3 Vols., London: Macmillan, 1921; Ploss, Heinrich & Max und Paul Bartels, Das Weib in der Natur- und Völkerkunde, 11. Aufl., 3 Bde., Berlin: Neufeld & Henius, 1927; 中山太郎『日本婚姻史』東京：春陽堂、1928; 江守五夫『結婚の起源と歴史』(現代教養文庫; 538) 東京：社会思想社、1965; 和田正平『性と結婚の民族学』京都：同朋舎出版、1988。以上いずれも参考書。

8. 授業時間外学習：

独自に文献調査やフィールドワークを進め、学期末レポートにその成果を結実させてください。

9. その他：

科目名：宗教学特論Ⅰ／ Science of Religion(Advanced Lecture)Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

学期：1学期， 単位数：2

担当教員：高橋 原（教授）

講義コード：LM13310， 科目ナンバリング：LHU-RES602J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

宗教と心理

2. Course Title (授業題目)：

Religion and psychology

3. 授業の目的と概要：

宗教学・宗教心理学の歴史を振り返りながら宗教を人間の心理から考える。

4. 学習の到達目標：

宗教に関わる人間の営みを、心の動きという観点から考える視点を身につける。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

この講義では、さまざまな宗教学者、宗教心理学者の考えの跡をたどりながら人間心理と宗教について考える。取り上げるトピックとして次のようなものを予定している。(順不同)

1. 遠藤周作『私の愛した小説』をめぐって
2. フロイトの精神分析と宗教
3. ユング心理学と宗教
4. 回心の研究
5. 日本の宗教学と宗教心理
6. 近代日本における宗教言説と宗教体験

6. 成績評価方法：

レポートによる。

7. 教科書および参考書：

遠藤周作『私の愛した小説』（新潮文庫）、他、授業内で適宜指示する。

8. 授業時間外学習：

授業内で照会する文献、配布資料などで理解を深める。

9. その他：

科目名：宗教学特論Ⅱ／ Science of Religion(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

学期：1学期, **単位数：**2

担当教員：木村 敏明 (教授)

講義コード：LM15212, **科目ナンバリング：**LHU-RES603J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

自然災害と宗教

2. Course Title (授業題目)：

Natural Disaster and Religion

3. 授業の目的と概要：

突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、儀礼的实践を概観しつつ、現代社会における宗教の意義や課題について論じるとともに、高度な宗教学的知見をもとに議論を行うことで問題の理解を深める。

4. 学習の到達目標：

宗教学的なものの見方をみにつけることができる。

現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 自然災害をめぐる観念：神話における災害
3. 自然災害をめぐる観念：「怪物」の表象
4. 自然災害をめぐる観念：諸宗教伝統の災害観
5. 自然災害をめぐる観念：災因論
6. 自然災害をめぐる観念：神義論の諸相
7. 小括
8. 自然災害をめぐる儀礼：予防儀礼と減災儀礼
9. 自然災害をめぐる儀礼：災禍の儀礼
10. 自然災害をめぐる儀礼：慰霊・追悼・記念の儀礼
11. 自然災害をめぐる儀礼：儀礼の復活とその意義
12. 小括
13. 復興と宗教：ソーシャル・キャピタル
14. 復興と宗教：レジリエンス
15. まとめ

6. 成績評価方法：

毎回の授業後提出の小レポート[40%]、期末レポート[60%]

7. 教科書および参考書：

教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

8. 授業時間外学習：

新聞や読書などで普段からトピックに関連した情報を収集するようにつとめ、授業後の小レポートに反映させる。

9. その他：

科目名：宗教学特論Ⅲ／ Science of Religion(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期集中

学期：集中（1学期）， **単位数：**2

担当教員：三木 英（非常勤講師）

講義コード：LM98833, **科目ナンバリング：**LHU-RES604J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

宗教社会学概論

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Sociology of Religion

3. 授業の目的と概要：

本講義は、講義担当者が追究してきた幾つかのテーマ、すなわち「現代の民俗宗教」「宗教集団・組織論」「被災地における宗教」「ニューカマーとその宗教」を中心に展開してゆく。そして講義を進めるなか、それら以外のテーマにも適宜言及して、宗教社会学の全体像を受講者に呈示できるよう、努める予定である。それによって本講義は、宗教に対する社会学的接近の重要性を受講生に理解せしめんとするものである。大学院生には、彼らの取り組む研究課題に本講義が有益となりうるよう、質疑応答時間を確保するなどして対応する所存である。

4. 学習の到達目標：

受講生には、「宗教と社会」を巡る様々な論点が現代世界に存在すること、そしてそれらが研究される必要のあることを、講義を通して認識していただきたい。そうすれば、宗教社会学という学問の意義が理解されるであろう。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 宗教社会学とは何か
2. 宗教社会学の古典
3. 現代日本の宗教・概観
4. 民俗宗教の持続と変容（1）
5. 民俗宗教の持続と変容（2）
6. 宗教集団・組織論（1）
7. 宗教集団・組織論（2）
8. 宗教集団・組織論（3）
9. 宗教と震災（1）
10. 宗教と震災（2）
11. 宗教と震災（3）
12. ニューカマーとその宗教（1）
13. ニューカマーとその宗教（2）
14. ニューカマーとその宗教（3）
15. 私化された宗教の時代

6. 成績評価方法：

全講義終了後に提出いただくレポートを主とし、出席率及び受講態度を従として、総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書は用いない。参考書については、講義中に適宜指示する。

8. 授業時間外学習：

宗教社会学の文献に日頃から親しんでいただくことを希望する。とりわけ、本シラバスに記した講義テーマに関連する文献が望ましい。

9. その他：

科目名：宗教学研究演習Ⅰ／ Science of Religion(Advanced Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

学期：1 学期, **単位数：**2

担当教員：木村 敏明 (教授)

講義コード：LM15308, **科目ナンバリング：**LHU-RES606J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

宗教学の理論

2. Course Title (授業題目)：

theories of religious studies

3. 授業の目的と概要：

この授業は宗教学の文献を読み、それをもとに討論を行うことで、宗教学の理論と知識を身につけることを目的とする。大学院生は近年の理論的状況を踏まえて討論に参加する。

4. 学習の到達目標：

宗教学の高度な理論を身につける

文献を正確に読み、それに基づいた議論を行うことができるようになる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

以下のトピックに沿ってテキストの読解と討論をおこなう。

1. イントロダクション

2. 民間信仰

3. 民間信仰

4. 祖先崇拝

5. 祖先崇拝

6. シャマニズム

7. シャマニズム

8. 儀礼と祭り

9. 儀礼と祭り

10. 聖なるもの

11. 聖なるもの

12. 死生観

13. 死生観

14. 現代宗教

15. 現代宗教

6. 成績評価方法：

発表と授業への参加を総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書は用いない。その他についてはイントロダクションで指示する。

A textbook will not be used.

8. 授業時間外学習：

全員が事前にテキストを熟読してくる。発表者は発表の準備が必要である。

Students should read text before class.

9. その他：

科目名：宗教学研究演習Ⅱ／ Science of Religion(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 3講時

学期：2学期, **単位数：**2

担当教員：山田 仁史 (准教授)

講義コード：LM25307, **科目ナンバリング：**LHU-RES607J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

ウェスターマルク再読

2. Course Title (授業題目)：

Rereading Westermarck

3. 授業の目的と概要：

民族学者エドワード・ウェスターマルク (1862-1939) の古典的名著『人類婚姻史』を題材に、宗教的信仰や食文化、儀礼の社会的機能などのかかわりの中で、人類の性行動や婚姻のありかたを探ってゆきます。

4. 学習の到達目標：

人類文化の多様性と共通性を感じながら、英文を丁寧に読んで内容の理解を深めましょう。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

テキストの第1巻第6章を読みすすめます。参加者による担当部分の発表とディスカッションにより進行します。

6. 成績評価方法：

担当箇所についての発表 (50%) および議論への参加状況 (50%) によって評価します。

7. 教科書および参考書：

Westermarck, Edward, The History of Human Marriage, 5th ed., Vol. 1, London: Macmillan, 1921 (Chapter 6: Religious prostitution, the lending and exchange of wives, feasts). 入手方法は初回に指示します。

8. 授業時間外学習：

担当部分だけでなく、毎回の該当箇所を事前に読み、自分なりの訳を作って参加してください。

9. その他：

科目名：宗教学研究演習Ⅲ／ Science of Religion(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 4講時

学期：1学期, **単位数：**2

担当教員：アンドリュース デール (非常勤講師)

講義コード：LM12411, **科目ナンバリング：**LHU-RES608J, **使用言語：**英語

1. 授業題目：

A Study of Medical Folklore

2. Course Title (授業題目)：

A Study of Medical Folklore

3. 授業の目的と概要：

Illness is universal. With this in mind, we will examine various examples of medical folklore primarily from North America and Europe. We will discuss the connection between medical folklore and religious beliefs. Additionally, we will explore the practices used by people in order to maintain their health and overcome disability and illness. While we read through the text we can contemplate both the similarities and differences with our own cultural upbringing. This class will be conducted primarily in English.

4. 学習の到達目標：

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to cite examples of medical folklore. (5) Be able to explain the differences and similarities in practice between the examples referenced in classroom discussion and that of their own culture.

5. 授業の内容・方法と進度予定：

Tentative Class Schedule

- (1.) Guidance
- (2.) Reading & Discussion of the text: Folk Curing: The Magical Component (part 1)
- (3.) Reading & Discussion of the text: Folk Curing: The Magical Component (part 2)
- (4.) Reading & Discussion of the text: Folk Curing: The Magical Component (part 3)
- (5.) Reading & Discussion of the text: The Magical Transfer of Disease (part 1)
- (6.) Reading & Discussion of the text: The Magical Transfer of Disease (part 2)
- (7.) Reading & Discussion of the text: The Magical Transfer of Disease (part 3)
- (8.) Reading & Discussion of the text: Deformity, Disease, and Physical Ailment as Divine Retribution (part 1)
- (9.) Reading & Discussion of the text: Deformity, Disease, and Physical Ailment as Divine Retribution (part 2)
- (10.) Reading & Discussion of the text: Deformity, Disease, and Physical Ailment as Divine Retribution (part 3)
- (11.) Reading & Discussion of the text: Plugging, Nailing, Wedging, and Kindred Folk Medical Practices (part 1)
- (12.) Reading & Discussion of the text: Plugging, Nailing, Wedging, and Kindred Folk Medical Practices (part 2)
- (13.) Reading & Discussion of the text: Plugging, Nailing, Wedging, and Kindred Folk Medical Practices (part 3)
- (14.) Reading & Discussion of the text: Measuring and Plugging: The Magical Containment of Disease (part 1)
- (15.) Review

6. 成績評価方法：

Class exercises: 80%, Notebooks: 20%

7. 教科書および参考書：

"Magical Medicine: The Folkloric Component of Medicine in the Folk Belief, Custom, and Ritual of the Peoples of Europe and America." Wayland G. Hand. University of California Press, 1980.

8. 授業時間外学習：

3 to 5 hours per week of out of class study is required.

9. その他：

Office hours: The instructor will be available before and after the scheduled class.

科目名：宗教学研究演習Ⅳ／ Science of Religion(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 火曜日 4講時

学期：2学期, **単位数：**2

担当教員：アンドリュース デール (非常勤講師)

講義コード：LM22409, **科目ナンバリング：**LHU-RES609J, **使用言語：**英語

1. 授業題目：

A Study of Medical Folklore

2. Course Title (授業題目)：

A Study of Medical Folklore

3. 授業の目的と概要：

Illness is universal. With this in mind, we will examine various examples of medical folklore primarily from North America and Europe. We will discuss the connection between medical folklore and religious beliefs. Additionally, we will explore the practices used by people in order to maintain their health and overcome disability and illness. While we read through the text we can contemplate both the similarities and differences with our own cultural upbringing. This class will be conducted primarily in English.

4. 学習の到達目標：

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to cite examples of medical folklore. (5) Be able to explain the differences and similarities in practice between the examples referenced in classroom discussion and that of their own culture.

5. 授業の内容・方法と進度予定：

Tentative Class Schedule

- (1.) Guidance
- (2.) Reading & Discussion of the text: Measuring with String, Thread, and Fibre: A Practice in Folk Medical Magic (part 1)
- (3.) Reading & Discussion of the text: Measuring with String, Thread, and Fibre: A Practice in Folk Medical Magic (part 2)
- (4.) Reading & Discussion of the text: Magical Treatment of Disease by Outlining the Ailing Part (part 1)
- (5.) Reading & Discussion of the text: Over and Out: Magical Divestment in Folk Belief and Custom (part 1)
- (6.) Reading & Discussion of the text: Over and Out: Magical Divestment in Folk Belief and Custom (part 2)
- (7.) Reading & Discussion of the text: Passing Through: Folk Medical Magic and Symbolism (part 1)
- (8.) Reading & Discussion of the text: Passing Through: Folk Medical Magic and Symbolism (part 2)
- (9.) Reading & Discussion of the text: Passing Through: Folk Medical Magic and Symbolism (part 3)
- (10.) Reading & Discussion of the text: Animal Sacrifice in American Folk Curative Practice
- (11.) Reading & Discussion of the text: The Mole in Folk Medicine: A Survey from Indic Antiquity to Modern America (part 1)
- (12.) Reading & Discussion of the text: The Mole in Folk Medicine: A Survey from Indic Antiquity to Modern America (part 2)
- (13.) Reading & Discussion of the text: Physical Harm, Sickness, and Death by Conjury: A Survey of the Sorcerer's Evil Art in America (part 1)
- (14.) Reading & Discussion of the text: Physical Harm, Sickness, and Death by Conjury: A Survey of the Sorcerer's Evil Art in America (part 2)
- (15.) Review

6. 成績評価方法：

Class exercises: 80%, Notebooks: 20%

7. 教科書および参考書：

"Magical Medicine: The Folkloric Component of Medicine in the Folk Belief, Custom, and Ritual of the Peoples of Europe and America." Wayland G. Hand. University of California Press, 1980.

8. 授業時間外学習：

3 to 5 hours per week of out of class study is required.

9. その他：

Office hours: The instructor will be available before and after the scheduled class.

科目名：宗教学実習 I / Science of Religion(Field Work)I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

学期：1 学期, **単位数：**2

担当教員：木村 敏明. 谷山 洋三. 山田 仁史. 高倉 浩樹 (教授 他)

講義コード：LM11406, **科目ナンバリング：**LHU-RES610J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：

How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. 学習の到達目標：

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：宗教学におけるデータとは
3. 第二回：参与観察法
4. 第三回：インタビュー調査法
5. 第四回：質問紙調査法
6. 第五回：文献調査法・情報検索法
7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

6. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

8. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

9. その他：

科目名：宗教学実習Ⅱ／ Science of Religion(Field Work)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時, 後期 月曜日 5 講時

学期：2 学期, **単位数：**2

担当教員：木村 敏明, 谷山 洋三, 山田 仁史, 高倉 浩樹 (教授 他)

講義コード：LM21404, **科目ナンバリング：**LHU-RES611J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：

How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなうとともに、冬季の調査に向けた準備を行う。

4. 学習の到達目標：

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1. イントロダクション 後期授業の概要
- 2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
- 3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
- 4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
- 5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
- 6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
- 7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
- 8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
- 9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
- 10. 第九回、前期調査成果発表
- 11. 第十回、現地調査計画の立案
- 12. 第十一回、現地調査準備①地域について知る
- 13. 第十二回、現地調査準備②先行研究をまとめる
- 14. 第十三回、現地調査準備③質問項目を考える
- 15. 第十四回、まとめ、現地調査の最終チェック

6. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

8. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題、準備。冬季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Winter Semester Research.

9. その他：